令和5年第6回安芸市農業委員会定例会議事録

1. 開催日時 令和5年6月27日（火）午後1時30分から3時4分
2. 開催場所 安芸市役所 二階 会議室
3. 出席農業委員（13人）

会長	1番	内川	昭二
会長職務代理者	2番	野町	亜理
会長職務代理者	3番	大久保	暢夫
	4番	川島	一義
	5番	千光士	伊勢男
	6番	野村	勉
	7番	樋口	なぎさ
	8番	西岡	秀輝
	9番	有澤	節子
	10番	福本	隆憲
	11番	面岡	大作
	13番	栗山	浩和
	14番	小松	豊喜
4. 欠席農業委員（1人）

	12番	山内	芳幸
5. 出席農地利用最適化推進委員（7人）

伊尾木	黒岩	榮之
川北	中平	秀一
土居	入交	大輔
井ノ口	小松	昌平
畑山	小松	光正
穴内	長野	榮徳
赤野	大野	實
6. 傍聴者 なし
7. 議事日程

報告第1号	農地法第3条の3届出について
議案第2号	農地法第3条許可申請について
議案第3号	農地法第4条第1項許可申請について

- 議案第4号 農地法第5条第1項許可申請について
報告第5号 農地法第18条第6項解約通知報告について
議案第6号 農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画
決定について
議案第7号 農地中間管理事業法第19条の2の農用地利用
集積計画（一括方式）決定について
議案第8号 非農地証明願について
議案第9号 令和4年度農業委員会の農地利用の最適化の
推進の状況その他事務の実施状況について
その他

8. 農業委員会事務局職員

事務局長 三宮 一仁
事務局次長兼振興係長 北村 博昭
事務局農地係長 弘井 恭介

9. 会議の概要

議長

これより、本日の会議を開きます。

議事に入る前に事務局が諸般の報告をいたします。

事務局長

本日の出欠状況を報告します。

定数14人、欠席1人、出席数13人であります。

欠席委員の12番山内委員から、所要のため欠席の届出があつております。

次に、事務の概要報告をいたします。

5月30日に、「令和5年度安芸郡市農業委員会協議会・総会」が北川村で開催され、内川会長と弘井係長が出席しました。

また、6月8日に、「農業者年金制度研修会」が土佐市で開催され、北村次長が出席しました。

6月26日に、「第87回常設審議委員会」が高知市で開催され、弘井係長と内川会長が出席しました。

また、同日に「安芸市担い手支援協議会・幹事会」が開催され、北村次長が出席しました。

以上で、事務の概要報告を終わります。

議長

本定例会の日程は、本日1日限りといたしたいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」との声あり）

異議なしと認めます。よって本定例会の日程は本日1日と決定いたします。

会議規則第21条第2項の規定により、議事録署名委員に西岡秀輝委員及び有澤節子委員を指名いたします。

それでは、「報告第1号、農地法第3条の3届出について」事務局が説明をいたします。

事務局（北村）

議案書は、1ページをお開きください。

「報告第1号、農地法第3条の3届出について」です。

今回は、1件届出が出ています。

届出番号1番です。

権利取得者は、議案書に記載のとおりです。

届出地は、記載のとおり川北の2筆で、面積は全部で1,939㎡です。

相続により所有権が移転となったもので、あっせんの希望はございません。

説明は、以上です。

議長

ただいまの「報告第1号について」、質問、意見等がございましたらお願いいたします。

（質問、意見等なし）

議長

質問、意見等がないようでしたら、これは報告案件ですので、了解いただきたいと思います。

続きまして、「議案第2号、農地法第3条許可申請について」を議題とし、事務局が説明をいたします。

事務局（北村）

議案書は2ページをお開きください。

「議案第2号、農地法第3条許可申請について」説明いたします。

申請番号1番です。

譲渡人、譲受人は議案書に記載のとおりで、申請地も記載のとおり川北の1筆で、登記地目は畑で、面積は538㎡です。

売買による所有権移転の申請で、果樹の作付を予定しております。

所在地につきましては、3ページに地図がございます。

土居・中ノ橋の南東にある農地です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

次に、農地法第3条第2項各号の判断につきましては、A3の農地法第3条調査書で説明します。

まず、全部効率利用要件につきましては、譲受人は果樹、水稻等を栽培しています。今回の申請地では、果樹を作付けする予定がされております。

農作業に従事する家族等の状況及び農機具の保有状況等からみて、耕作すべき農地すべてを効率的に利用するものと見込まれます。

なお、今回の申請地については、写真を見てもらって分かると思いますが、現況が遊休農地でありますので、遊休農地復旧・解消計画を提出していただきました。その計画どおり作業を行い、遊休農地が解消され、来年に耕作可能となる予定です。

次に、農地所有適格法人要件につきましては、譲受人は個人ですので、適用ありません。

次に、信託引受除外要件につきましては、信託ではありませんので、適用ありません。

次に、農作業常時従事要件につきましては、譲受人は、果樹、水稻等を栽培し、農業を営んでおりました、農業に従事する予定者、年間300日が1名おります。このため、農作業を行う必要がある年間150日以上の要件を満たすと見込まれます。

次に、転貸禁止につきましては、所有権移転・売買でありますので該当しません。

次に、地域との調和要件につきましては、申請地には果樹を栽培する予定がされており、地域の防除基準にあった栽培管理を行うため、本件の権利取得により周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものと考えられます。

これらのことから、この申請につきましては農地法第3条第2項の各号には該当しないため、「許可要件のすべてを満たしている」と考えます。

なお、現地につきましては、6月14日に樋口なぎさ委員、西岡秀輝委員、中平秀一委員に確認していただきました。

次に、申請番号2番と3番は、両親から子に贈与される内容となりますので、まとめて説明いたします。

申請番号2番と3番です。

譲渡人、譲受人は、それぞれ議案書に記載のとおりで、申請地も記載のとおり、申請番号2番は、川北の4筆、現況地目は畑で、面積は3,037㎡です。申請番号3番も川北の4筆、現況地目は畑で、面積は2,414㎡です。

贈与による所有権移転の申請で、ユズを作付しております。

所在地につきましては、3ページに地図がございます。

安芸森林管理署の北にある農地です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

次に、農地法第3条第2項各号の判断につきましては、A3の農地法第3条調査書で説明します。

まず、全部効率利用要件につきましては、譲受人は、ユズを栽培しています。今回の申請地には、ユズを作付しており、農作業に従事する家族等の状況及び農機具の保有状況等からみて、耕作すべき農地すべてを効率的に利用するものと見込まれます。

次に、農地所有適格法人要件につきましては、譲受人は個人ですので、適用ありません。

次に、信託引受除外要件につきましては、信託ではありませんので適用ありません。

次に、農作業常時従事要件につきましては、譲受人はユズを栽培し、農業を営んでおりまして、農業に従事する予定者、年間320日が1名おります。このため、農作業を行う必要がある年間150日以上の要件を満たすと見込まれます。

次に、転貸禁止につきましては、所有権移転・贈与でありますので該当しません。

次に、地域との調和要件につきましては、申請地にはユズを栽培しており、地域の防除基準にあった栽培管理を行うため、本件の権利取得により周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものと考えられます。

これらのことから、この申請につきましては農地法第3条第2項の各号には該当しないため、「許可要件のすべてを満たしている」と考えます。

なお、現地につきましては、6月14日に樋口なぎさ委員、西岡秀輝委員、中平秀一委員に確認していただきました。

最後に、申請番号4番です。

譲渡人、譲受人は議案書に記載のとおりで、申請地も記載のとおり土居の2筆で、現況地目は田で、面積は2,513㎡です。

売買による所有権移転の申請で、ナスの作付をしています。

所在地につきましては、4ページに地図がございます。

J A安芸集出荷場の東にある農地です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

次に、農地法第3条第2項各号の判断につきましては、

A 3 の農地法第 3 条調査書で説明します。

まず、全部効率利用要件につきましては、譲受人はナスを栽培しています。今回の申請地は、ナスの作付けをしています。

農作業に従事する家族等の状況及び農機具の保有状況等からみて、耕作すべき農地すべてを効率的に利用するものと見込まれます。

次に、農地所有適格法人要件につきましては、譲受人は個人ですので、適用ありません。

次に、信託引受除外要件につきましては、信託ではありませんので、適用ありません。

次に、農作業常時従事要件につきましては、譲受人は、ナスを栽培し、農業を営んでおりまして、農業に従事する予定者、年間300日が1名おります。このため、農作業を行う必要がある年間150日以上の要件を満たすと見込まれます。

次に、転貸禁止につきましては、所有権移転・売買でありますので該当しません。

次に、地域との調和要件につきましては、申請地にはナスの作付けがされており、地域の防除基準にあった栽培管理を行うため、本件の権利取得により周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものと考えられます。

これらのことから、この申請につきましては農地法第 3 条第 2 項の各号には該当しないため、「許可要件のすべてを満たしている」と考えます。

なお、現地につきましては、6月15日に福本隆憲委員、入交大輔委員に確認していただきました。

説明は、以上です。

議 長

現地確認委員の報告を、申請番号1番から3番は、樋口なぎさ委員、申請番号4番は、福本隆憲委員お願いします。

7番樋口委員

申請番号1番から3番です。14日に現地を見てきました。先ほどの説明のとおりです。

10番福本委員

申請番号4番です。15日に現地を見てきました。先ほどの説明のとおりです。

議 長

それでは、審議をお願いします。

14番小松豊喜委員

教えてください。

2番と3番。(議案書の)経営面積が個々の名義人でないと思うけど。

個人の方では出ないわけ。

- 事務局（弘井） 台帳は、世帯で管理されているので。
- 14番小松豊喜委員 贈与の場合やったら、自分がいくら、妻がいくら、贈与するということが分かりにくい。
- 事務局（弘井） 今、機械に入れるとこうなります。
言われるようにするためには、手で修正することになります。
前に昌平委員に言われたこともあります。
(発言する者あり)
- 事務局（北村） 同じ世帯に、祖父、父、子がいる場合、一つの経営体としてとらえるので。分かりにくいと思われるかもしれませんが。
(質問、意見等なし)
- 議長 他にないようですので、採決をいたします。
「議案第2号、農地法第3条許可申請について」は原案どおり認め、許可することに賛成の方は挙手をお願いします。
(挙手全員)
- 議長 全員賛成です。
よって、「議案第2号、農地法第3条許可申請について」は原案どおり認め、許可することに決定しました。
続きまして、「議案第3号、農地法第4条第1項許可申請について」を議題とし、事務局が説明をいたします。
- 事務局（弘井） 「議案第3号の4条申請について」説明いたします。
今回は、1件申請が提出されております。
今回提出している議案ですが、今年4月の定例会に第5条申請として提出し、承認いただいたものですが、高知県農業会議より「正しくは4条と5条2つの申請が必要ではないか」との指摘があり、確認したところ、県の受付が今年から変わったということでした。そのため、今回、4条、5条、2件に分けて、再度審議いただくものです。
今回、4条と、次に5条を分けていますが、説明につきましては4条、5条一括でさせていただきます。
議案書は、5ページと7ページ。
申請人、申請地は議案書に記載のとおりで、地目は畑、面積は4条分が45㎡、5条分が250㎡で合計295㎡。転用目的は、農業用倉庫2棟の建築です。
地図は、6ページに掲載しています。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

場所は穴内、大平新城集会所の東にある農地です。

現地確認は、4月11日に山内芳幸委員、長野榮徳委員にさせていただきました。

次に、別紙のA3サイズの農地法第4条と第5条調査書をご覧ください。

1の立地基準、農地性の判断ですが、こちらは農用地区域内の農地となっております。

続きまして、2の一般基準についてご説明いたします。

検討事項①の理由についてですが、転用者は申請地近くで農業を営んでおり、申請地に農業用倉庫を建てていたが、農地の一部が市道にかかったため、農業用倉庫を解体することとなりました。再度農業用倉庫を建築する必要性がありましたが、市道分の面積が減少したため、同規模の倉庫を建てるには面積が足りないため、北側の農地を購入し、倉庫を建築し、その残地にもう1棟建築することとしたものです。

申請地は、宅地や道路に囲まれており、農地として利用することが困難なため選定したもので、他に適した用地が無いため、当該申請地を申請することがやむを得ないと認められます。

資力や信用につきましては、貯金証書の写しを確認し、問題はないと判断いたしました。

遅滞なく転用が行われるかにつきましては、現地調査、申請書類確認の結果、転用は確実に行われると判断いたしました。

計画面積の妥当性につきましては、土地利用計画図が提出されており、農業用倉庫用地として転用面積が妥当であると判断いたしました。

次に、周辺農地への支障につきましては、当該申請地の北側は道路予定地、南側は市道を挟んで譲受人所有の農地、東側は宅地及び同意のある農地、西側は市道を挟んで宅地です。生活雑排水の発生する施設の設置はなく、雨水は土部分については自然浸透、建物部分は雨どいからパイプで東側水路に排水する計画となっております。これらのことから転用事業の実施による周辺農地への影響はないと判断します。

特定土地改良事業等関係につきましては、土地改良事業の施行地ではありません。

申請地に係る土地と都市計画との関係につきましては、都市計画区域外となっています。

農用区域内の農地は転用できませんが、本申請は農用地利用計画で指定されている用途ですので許可は可能です。

総合意見といたしまして、現地調査、申請書類の確認の結果、「転用計画は許可相当である」と判断いたします。

説明は、以上です。

事務局（北村）

補足です。

4条と5条の説明ということですが、6ページの地図があります。4条部分と5条部分ということで。自己所有地と売買を伴う転用で、今回はこれを5条で一括としていたものを、説明がありましたように、今回は分けてやるようにしたものです。

採決は、4条と5条で別々していただきますので、よろしくをお願いします。

議長

申請番号1番については、4月の定例会で現地確認委員の報告を山内芳幸委員からいただいております。

申請の内容は変更ありませんが、土地所有者の関係で4条と5条の申請に分割するものですので、報告は省略させていただきます。

それでは、審議をお願いします。

（質問、意見等なし）

議長

別になければ、採決いたします。

「議案第3号、農地法第4条第1項許可申請について」は、原案どおり認め、進達することに賛成の方は挙手をお願いします。

（挙手全員）

議長

全員賛成です。

よって、「議案第3号、農地法第4条第1項許可申請について」は原案どおり認め、進達することに決定しました。

続きまして、「議案第4号、農地法第5条第1項許可申請について」を議題とし、事務局が説明をいたします。

事務局（弘井）

「議案第4号の5条申請について」説明いたします。

今回は、先ほど説明した件も含め、3件の申請が提出されております。

議案書は、7ページをご覧ください。

申請番号1番。

譲渡人、譲受人、申請地は議案書に記載のとおりで、地目は田、面積は189㎡で、転用目的は個人住宅の建築です。場所は、8ページに地図を掲載しています。併せて、現地の写真もお配りしますので、ご確認ください。

場所は、川北・江川地区にある農地です。

現地確認は、6月14日に樋口なぎさ委員、西岡秀輝委員、中平秀一平委員にさせていただきました。

次に、別紙のA3サイズの農地法第5条調査書をご覧ください。

1の立地基準、農地性の判断ですが、該当区分は第1種農地にあたりと判断しています。理由は、10ヘクタール以上の集団農地であるためです。第1種農地は原則転用が許可できませんが、農地法施行規則第33条第4号の集落接続により転用許可は可能であると考えています。

続きまして、2の一般基準についてご説明いたします。

検討事項①の理由についてですが、現在、住所地に家族9人で住んでいますが、子どもが2人おり、これからの成長に伴い手狭となること、また、建物自体の老朽化が進んでいる状況もあります。そのため、祖父母以外の7人が住むための住宅を新築したいと考え、現住宅の敷地を拡張させ、既存建物の建て替えを計画したもので、既存住宅の建て替えであり、他の土地をもって代えることができないため、当該申請地を申請することがやむを得ないと認められます。

資力や信用につきましては、融資見込み証明書類を確認し、問題はないと判断いたしました。

遅滞なく転用が行われるかにつきましては、現地調査、申請書類確認の結果、転用は確実に行われると判断いたしました。

計画面積の妥当性につきましては、土地利用計画図が提出されており、個人住宅用地として転用面積が妥当であると判断いたしました。

次に、周辺農地への支障についてですが、当該申請地の北側は宅地及び貸人所有の農地、南側及び西側は貸人所有の農地、東側は宅地です。生活排水は浄化槽で処理後、西側既存水路へ、雨水も同様に西側既存水路へ排水する計画です。これらのことから、転用事業の実施による周辺農地への影響はないと判断します。排水について

は、改良区より同意を得ています。

特定土地改良事業等関係につきましては、土地改良事業の施行地ではありません。

申請地は、都市計画区域外で、農業振興地域内ですが、農用地区域外となっています。

総合意見といたしまして、現地調査、申請書類の確認の結果、「転用計画は許可相当である」と判断いたします。

次に、申請番号2番です。

貸人、借人、申請地は議案書に記載のとおりで、地目は田、面積は311㎡で、転用目的は個人住宅の建築です。

場所は、9ページに地図を掲載しています。

併せて、現地の写真もお配りしますので、ご確認ください。

場所は、井ノ口・横立集会所の西にある農地です。

現地確認は、6月12日に大久保暢夫委員、面岡大作委員、小松昌平委員にさせていただきました。

次に、別紙のA3サイズの農地法第5条調査書をご覧ください。

1の立地基準、農地性の判断ですが、該当区分は第1種農地にあたりと判断しています。理由は、10ヘクタール以上の集団農地であるためです。第1種農地は原則転用が許可できませんが、農地法施行規則第33条第4号により転用許可は可能であると考えています。

続きまして、2の一般基準についてご説明いたします。

検討事項①の理由についてですが、借人は高知市で昨年産まれた子どもと3人で賃貸住宅に住んでいますが、現在の住宅では手狭となったため、住宅の新築を計画しました。当該申請地は両親の家の隣であり、共働きである借人が、子どもの世話をしてもらうにも安心で、将来的には両親の面倒をみて、相互扶助することとなるため選定したもので、他に適した用地が無いことから、当該申請地を申請することがやむを得ないと認められます。

資力や信用につきましては、融資見込み証明書類を確認し、問題ないと判断しました。

遅滞なく転用が行われるかにつきましては、現地調査、申請書類確認の結果、転用は確実に行われると判断いたしました。

計画面積の妥当性につきましては、土地利用計画図が

提出されており、個人住宅用地として転用面積が妥当であると判断いたしました。

次に、周辺農地への支障についてですが、当該申請地の北側は市道を挟んで宅地及び同意のある農地、南側及び西側は同意のある農地、東側は宅地です。生活排水は浄化槽で処理後、北側市道側溝へ、雨水も北側市道側溝へ排水する計画です。これらのことから、転用事業の実施による周辺農地への影響はないと判断します。

特定土地改良事業等関係につきましては、土地改良事業の施行地ではありません。

申請地は、都市計画区域外で、農業振興地域内ですが、農用地区域外となっています。

総合意見といたしまして、現地調査、申請書類の確認の結果、「転用計画は許可相当である」と判断いたします。

申請番号3番は、4条のところで説明したとおりです。説明は、以上です。

議 長

現地確認委員の報告を、申請番号1番は西岡秀輝委員、申請番号2番は大久保暢夫委員、お願いします。

8番西岡秀輝委員

申請番号1番です。現地を確認してきました。先ほどの説明のとおりです。

3番大久保委員

2番です。6月12日に現地を確認してきました。先ほどの説明のとおりです。

議 長

なお、申請番号3番は4条申請で申し上げたとおり、4月の定例会で現地確認委員の報告を山内芳幸委員からいただいております。

申請の内容は変更ありませんが、土地所有者の関係で4条と5条の申請に分割するものですので、報告は省略させていただきます。

それでは、審議をお願いします。

(質問、意見等なし)

議 長

別にないようですので、採決いたします。

「議案第4号、農地法第5条第1項許可申請について」は、原案どおり認め、進達することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

議 長

全員賛成です。

よって、「議案第4号、農地法第5条第1項許可申請について」は原案どおり認め、進達することに

決定いたしました。

続きまして、「報告第5号、農地法第18条第6項解約通知報告について」を議題とし、事務局が説明をいたします

事務局（北村） 「報告第5号、農地法第18条第6項解約通知報告について」説明いたします。

議案書は10ページです。

届出番号1番です。

賃貸人、賃借人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおりで赤野の1筆です。地目は田で、面積は492㎡です。

当初は、令和元年9月20日から6年間の賃借権が設定されていましたが、後の議案に出てきますが、借り手の変更のため、双方の合意により解約の通知が提出されたものです。

説明は、以上です。

議長 ただいまの「報告第5号について」、質問、意見等がございましたらお願いいたします。

（質問、意見等 なし）

議長 質問、意見等が無いようでしたら、これは、報告案件ですので、了解いただきたいと思います。

続きまして、「議案第6号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画決定について」を議題とします。

事務局（北村） 「議案6号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画決定について」説明いたします。

農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律の経過措置を適用して、従来の農用地利用集積計画を定めようとするものです。

議案書は、11ページからになります。

申請番号1番です。

貸付人、借受人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおり伊尾木の農地1筆で、地目は田で、面積は全部で1,379.7㎡です。

ナスを栽培する予定をしており、貸借期間は5年間で、賃借料は、10万円の条件で新規設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、15ページに地図がございます。

伊尾木保育所の西にある農地です。

経過措置として適用される、改正前の農業経営基盤強化

促進法第18条第3項の各号の判断につきましては、別紙のA3の農業経営基盤強化促進法に係る利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

次に、申請番号2番です。

貸付人、借受人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおり土居の農地1筆で、地目は田で、面積は全部で1,596㎡です。

ナスを作付する予定をしており、貸借期間は5年間で、賃借料は、米6俵代の条件で再設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、15ページに地図がございます。

J A北支所の南にある農地です。

経過措置として適用される、改正前の農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各号の判断につきましては、別紙のA3の農業経営基盤強化促進法に係る利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

次に、申請番号3番です。

貸付人、借受人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおり土居の農地1筆で、地目は田で、面積は2,121㎡です。

ナスを栽培する予定をしており、貸借期間は2年間で、賃借料は45万円の条件で新規設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、15ページに地図がございます。

市役所建設地の北にある農地です。

経過措置として適用される、改正前の農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各号の判断につきましては、別紙のA3の農業経営基盤強化促進法に係る利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

次に、申請番号4番です。

貸付人、借受人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおり僧津の農地1筆で、地目は田で、面積は1,970㎡です。

ナスを栽培する予定をしており、貸借期間は2年間で、賃借料は、45万円の条件で新規設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、16ページに地図がございます。

J A北支所の北西にある農地です。

経過措置として適用される、改正前の農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各号の判断につきましては、別紙のA3の農業経営基盤強化促進法に係る利用集積計画の調査

書に記載してあるとおりです。

次に、申請番号5番です。

貸付人、借受人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおり黒鳥の農地1筆で、地目は田で、面積は2,252㎡です。

ナスを栽培する予定をしており、貸借期間は10年間で、賃借料は、60万円の条件で再設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、16ページに地図がございました。

黒鳥公民館の南東にある農地です。

経過措置として適用される、改正前の農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各号の判断につきましては、別紙のA3の農業経営基盤強化促進法に係る利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

次に、申請番号6番です。

貸付人、借受人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおり赤野の農地1筆で、地目は田で、面積は631㎡です。

ナスを栽培する予定をしており、貸借期間は3年間で、賃借料は、45,000円の条件で再設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、17ページに地図がございました。

赤野叶岡集落の北にある農地です。

経過措置として適用される、改正前の農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各号の判断につきましては、別紙のA3の農業経営基盤強化促進法に係る利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

最後に、申請番号7番です。

この件は、5月の定例会で決定していただきましたが、議案に誤りが判明したため、修正したものを決定いただくものです。

貸付人、借受人、貸付期間、賃借料は変更ありませんが、旧農地保有合理化事業によるもので、県農業公社が貸付人から借りている農地を借受人に転貸するものです。

先月に現地確認いただいている写真を再度お配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、15ページに地図がございました。

市役所建設地の北にある農地です。

経過措置として適用される、改正前の農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各号の判断につきましては、別紙のA3の農業経営基盤強化促進法に係る利用集積計画の調査

書に記載してあるとおりです。

なお、現地につきましては、申請番号1番は、内川昭二委員、黒岩榮之委員に、申請番号2番から4番は、福本隆憲委員、入交大輔委員に、申請番号5番は、川島一義委員、渡辺禎宏委員に、申請番号6番は、野町重理委員、大野實委員に、確認いただきました。

申請番号7番は、先ほど説明いたしました、先月の議案の誤りを一部修正したものですので、現地確認の報告は省略させていただきます。

説明は、以上です。

議 長

現地確認委員の報告を、申請番号1番は黒岩榮之委員、申請番号2番から4番は入交大輔委員、申請番号5番は川島一義委員、申請番号6番は大野實委員、お願いします。

なお、申請番号7番は、5月の定例会で現地確認委員の報告を入交大輔委員からいただいております。

議案作成で一部誤りが判明したため、修正したものを再度審議いただくものですので、報告は省略させていただきます。

黒岩推進委員

申請番号1番です。現地確認してきました。先ほどの説明のとおりです。

入交推進委員

申請番号2番から4番です。6月15日に現地確認してきました。報告のとおりです。

4番川島委員

申請番号5番です。現地確認してきました。先ほどの報告のとおりです。

大野推進委員

申請番号6番です。現地確認してきました。報告のとおりです。

議 長

それでは審議をお願いします。

(質問、意見等 なし)

議 長

別にないようですので、採決いたします。

「議案第6号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画決定について」は、原案どおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

議 長

全員賛成です。

よって、「議案第6号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画決定について」は、原案どおり決定いたしました。

続きまして、「議案第7号 農地中間管理事業法第19条の2の農用地利用集積計画（一括方式）決定について」を

事務局（北村）

議題とし、事務局が説明をいたします。

議案書は、18ページをお開きください。

「議案第7号 農地中間管理事業法第19条の2の農用地利用集積計画（一括方式）決定について」、説明いたします。

農地中間管理事業法第19条の2の農用地利用集積計画を活用した案件となります。

申請番号1番です。

貸付人、借受人、転借人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおり土居の農地3筆で、地目は田で、面積は3,611㎡です。

作物は、転借人がナスを栽培する予定をしております、貸借期間は10年間で、賃借料は10アール当たり7万円の条件で新規設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、19ページに地図がございます。

春日橋の西にある農地です。

経過措置として適用される、改正前の農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各号の判断につきましては、別紙のA3の農業経営基盤強化促進法に係る利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

次に、申請番号2番です。

貸付人、借受人、転借人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおり赤野の農地2筆で、地目は田で、面積は887㎡です。

作物は、転借人がナスを栽培する予定をしております、貸借期間は5年間で、賃借料は10アール当たり67,650円の条件で新規設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、19ページに地図がございます。

赤野橋の北西にある農地です。

経過措置として適用される、改正前の農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各号の判断につきましては、別紙のA3の農業経営基盤強化促進法に係る利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

現地につきましては、申請番号1番は、福本隆憲委員、入交大輔委員に、申請番号2番は、野町亜理委員、大野實委員に、確認していただいております。

説明は、以上です。

議長

現地確認委員の報告を、申請番号1番は入交大輔委員、

申請番号2番は大野實委員、お願いします。

入交推進委員 申請番号1番です。6月15日に現地確認してきました。先ほどの説明のとおりです。

大野推進委員 申請番号2番です。現地確認してきました。報告のとおりです。

議長 それでは審議をお願いします。

小松昌平推進委員 ちょっと教えて。

一つ前の議案、申請番号7番のことで。

この議案では一括して転貸しているが、前の議案では、転貸のみの扱いになっている。その前に中間管理機構に貸付けされていたらいいと思うが、間違いないか。前回、欠席していたので。

事務局（北村） 「議案第6号の申請番号7番」は、旧農地合理化事業で土地所有者から中間管理機構に貸している期間内で、転貸するもので。

6月の末までは、現在の賃借人が借りていて、次に今回の賃借人が借りるもの。前回の議案の記載の仕方に誤りがあったことが分かったので修正したもので、今回修正した内容が正しいものになります。

小松昌平推進委員 手前で（中間管理機構に）貸しているということやね。

事務局（北村） はい。

（質問、意見等 なし）

議長 他にないようですので、採決いたします。

「議案第7号 農地中間管理事業法第19条の2の農用地利用集積計画（一括方式）決定について」については、原案どおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

（挙手全員）

議長 全員賛成です。

よって、「議案第7号 農地中間管理事業法第19条の2の農用地利用集積計画（一括方式）決定について」については、原案どおり決定いたしました。

続きまして、「議案第8号、非農地証明願について」を議題とし、事務局が説明いたします。

事務局（弘井） 「議案第8号、非農地証明願について」説明いたします。今回は4件の申請がでております。

それでは、申請番号1番。

申請人、申請地は議案書記載のとおりで、登記簿地目は田、面積は135㎡となっております。

所在地の地図は21ページに掲載しております。

僧津・小松酒販の事務所の南側にある土地で、現在は住宅が建っております。

現地の写真をお配りいたしますので、ご確認ください。

現地は、平成12年に住宅が建築され、そのまま現在に至っています。現地の状況及び、安芸市税務課の証明する書類を確認し、安芸市の非農地証明書発行基準である15年以上を経過していて、非農地の証明が可能であると判断いたします。

現地につきましては、6月15日に福本隆憲委員、野村勉委員、入交大輔委員に確認していただきました。

次に、申請番号2番。

申請人、申請地は議案書記載のとおりで、登記簿地目は畑、面積は446㎡となっております。

所在地の地図は22ページに掲載しております。

穴内保育所から東に300m程にある山の中の土地で、現在、山林化しています。

現地の写真をお配りいたしますので、ご確認ください。

現地につきましては、山の中になりますので、私が現地で写真を撮ってきまして、その写真と申請書類を6月13日に穴内公民館で山内芳幸委員、栗山浩和委員、長野榮徳委員に確認いただきました。

現地は、昭和60年以降耕作しておらず、山林化し、現在に至っています。現地の状況を確認し、安芸市の非農地証明書発行基準である15年以上を経過していて、非農地の証明が可能であると判断いたしました。

次に、申請番号3番。

申請人、申請地は議案書記載のとおりで、登記簿地目は畑、面積は251㎡となっております。

所在地の地図は23ページに掲載しております。

井ノ口・山田地区にある土地で、現在、住宅が建っています。

現地の写真をお配りいたしますので、ご確認ください。

現地は、昭和44年に申請人の父親が住宅を建築し、居宅及び駐車場として利用し、現在に至っています。現地の状況及び安芸市税務課の証明する書類を確認し、安芸市の非農地証明書発行基準である15年以上を経過していて、非農地の証明が可能であると判断いたします。

現地につきましては、6月12日に大久保暢夫委員、西

岡大作委員、小松昌平委員に確認していただきました。

次に、申請番号4番。

申請人、申請地は議案書記載のとおりで、登記簿地目は畑、面積は294㎡となっております。

所在地の地図は、24ページに掲載しております。

川北・内原野地区にある土地で、現在、竹林となっております。

現地の写真をお配りいたしますので、ご確認ください。

現地は、昭和44年頃から周辺も含め竹が広がり、現在は竹林となっております。現地の状況を確認し、安芸市の非農地証明書発行基準である15年以上を経過していて、非農地の証明が可能であると判断いたします。

現地につきましては、6月14日に樋口なぎさ委員、西岡秀輝委員、中平秀一委員に確認していただきました。

説明は、以上です。

議長

現地確認委員の報告を、申請番号1番は福本隆憲委員、申請番号2番は栗山浩和委員、申請番号3番は西岡大作委員、申請番号4番は西岡秀輝委員、お願いします。

10番福本委員

申請番号1番です。15日に現地確認をしてきました。先ほどの説明のとおりです。

13番栗山委員

申請番号2番です。現地には言っておりませんが、内容は、先ほどの説明のとおりです。

11番西岡大作委員

申請番号3番です。6月12日に現地確認をしてきました。先ほどの説明のとおりです。

8番西岡秀輝委員

申請番号4番です。先ほどの説明のとおりです。

議長

それでは審議をお願いします。

(質問、意見等 なし)

議長

別がないようですので、採決いたします。

「議案第8号、非農地証明願について」は、申請どおり認定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

議長

全員賛成です。

よって、「議案第8号、非農地証明願について」は、申請どおり認定することに決定いたしました。

続きまして、「議案第9号、令和4年度の農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況について」を議題とし、事務局が説明いたします。

事務局(北村)

最後の議案になります。

今日、机の上にお配りした用紙を使って説明します。

令和4年度の4月に定めました最適化活動の目標に対して、実績と点検を追加する形となっております。

1ページは、農業委員会の状況で、目標時のものを転記したものですので、説明は省かせていただきます。

2ページをお開きください。

2ページからは、「最適化活動の実施状況」です。

まず、(1)農地の集積の、③の実績の箇所、黄色で塗られた箇所をご覧ください。

令和4年度に新たに担い手に集積された面積は「6ヘクタール」で、合計の集積面積は「584ヘクタール」です。これに対して、農地面積は前年より減少して「921ヘクタール」です。

担い手への集積面積「584ヘクタール」を農地面積「921ヘクタール」で割った、集積率は「63.4パーセント」となり、目標としていた「62.4パーセント」を上回りました。

点検結果としては、「新規集積面積は目標より小さくなったが、全体の農地面積が減ったため、集積率は目標より増となった」としています。

次に、(2)遊休農地の発生防止、解消の③の実績の箇所、3ページの黄色で塗られた箇所をご覧ください。

遊休農地については、前年の遊休農地からの解消、減にはなっておらず、そこから増えていることから、点検結果としては、「既存遊休農地の解消には至らなかった」としています。

次に、(3)新規参入の促進の③の実績の箇所、4ページの黄色で塗られた箇所をご覧ください。

新規参入の実績については、貸付希望者から同意を得た上で、ホームページなどでそれを公表した農地の面積を使って出す形になっています。

しかし、本市としては、新規参入者から相談があつてから農地の調整に取り組んでおり、あらかじめ貸付希望者を把握しておき、かつ新規参入者への貸付の同意をとっておくという手続きはとっておりませんので、数字が上がってきていません。

ただし、(参考)の欄にありますように、新規参入は昨年「10経営体」で、そこへの集積は「2.3ヘクタール」となっています。

点検結果としては、「さきほど説明しました農地の調

整の取り組み」を記載しています。

次に、2の最適化活動の活動目標、(2)の活動強化月間の設定、②の実績の箇所、4ページ下段の黄色で塗られた箇所をご覧ください。

取組みとしては、「新規参入の促進」としては「体験ツアーへの参加」を、「遊休農地の解消」としては農地パトロール後の「利用状況の再確認」を、「農地の集積」としては「農地パトロール後の利用意向があった農地の情報提供」を挙げていますが、「今後の取り組み強化として、どんな取り組みを行っていくべきか」について協議を行う際に、皆さまのご意見をいただきたいと考えております。

次に、(3)の新規参入相談会への参加、②の実績の箇所、5ページ中段の黄色で塗られた箇所をご覧ください。

昨年度は、コロナ禍で相談会への参加も限られておりました。

11月に大阪で合同の相談会があり、農林課との参加を調整しましたが、調整がつかず、農林課担当者のみでの参加となりました。

県外での参加はなかなか厳しいと思いますので、県内市町村の合同相談会が計画されれば、そこへ参加いただくことを考えていきたいと思います。

以上のことから、目標についての達成状況は、「目標に対して期待どおりの結果が得られた」としました。

次に、推進委員等の点検・評価結果です。

同じく、5ページの一番下の黄色で塗られた箇所をご覧ください。

年間を通じた活動について、4段階で評価するようになっております。

令和4年度としましては、3番目の「目標に対して期待通り結果が得られた」という位置づけにしました。

農地の最適化活動については、これからも毎年、目標を設定し、その取り組みを振り返るという作業を行っていくこととなります。

まず、最初の年としては、以上の内容としましたが、今後、他市町村の取り組みも参考にしていきたいと考えています。

次に、6ページをお開きください。

令和4年度の事務の実施状況です。

「総会の開催」は、毎月1回の12回でした。

「農地法3条に基づく許可事務」は、34件で、すべて許可でした。

「農地転用に関する事務」は、年間処理件数は20件、すべて許可でした。

「違反転用への対応」は、特にありませんでした。

説明は、以上です。

議長 それでは審議をお願いします。

(質問、意見等 なし)

議長 別になければ、採決いたします。

「議案第9号、令和4年度の農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況について」は、原案どおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

議長 全員賛成です。

「議案第9号、令和4年度の農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況について」は、原案どおり決定いたしました。

以上で、議案審議は終了いたしました。

それでは、「その他」の件について、事務局から説明いたします。

事務局(北村) 現在の農業委員、農地利用最適化推進委員の皆さまにご出席いただきます定例会は、6月が最後となります。

任期は、来月の19日までですので、引き続きよろしく願いいたします。

まず、ご報告ですが、農業委員につきましては、今月の市議会で同意を得ることができました。

体制としましては、現委員の方が11人、農地利用最適化推進委員から農業委員となられる方が1人、新任の方が2人です。

新任2人に対しまして、来月19日をもって、任期満了する農業委員が2人いらっしゃいます。

野町亜理委員、山内芳幸委員です。

山内委員は欠席されていますが、この場をお借りしまして、野町委員から一言ご挨拶をいただきたいとおもいます。

(野町委員の挨拶)

ありがとうございました。

それと、農地利用最適化推進委員では、大野實委員が、今期をもちまして退任されます。大野委員からも一言ご挨拶をいただきたいとおもいます。

(大野推進委員の挨拶)

ありがとうございました。

次に、7月の総会の予定としましては、7月20日の木曜日に新たな農業委員の出席のもと、臨時会を午後1時30分から開催します。

当日は市長が出席し、辞令をお渡ししますので、遅れないように出席をお願いします。

その後、「会長や会長代理の互選」を行い、「新たな農地利用最適化推進委員の選出」を行う予定です。

定例会は、7月28日の金曜日の予定です。

なお、新たな農地利用最適化推進委員の皆さまは、7月20日に議案が決定されてから委嘱の手続きを行い、7月28日の定例会からご出席いただくようになる予定です。

また、こちらからお知らせいたします。

以上で、本日の定例会の日程は全部終了いたしました。

議 長

この議事録は事実と相違ないので、農業委員会会議規則第21条第2項の規定により署名する。

令和5年7月28日

安芸市農業委員会
会 長

会議録署名委員

会議録署名委員